

名古屋市「お泊りデイサービス」に関する状況調査結果概要

平成 24 年 5 月

名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護指導課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	
1 回答事業者の状況	2
2 「お泊りデイサービス」の実施内容	3

I 調査の概要

- | | |
|---------|--|
| 1 目 的 | 市内における「お泊りデイサービス」の実施状況を把握するもの。
※「お泊りデイサービス」とは、デイサービス事業者が行う介護保険外の宿泊サービスを指す。 |
| 2 調査対象 | 平成 23 年 11 月 1 日現在、市内に所在する 524 事業所
【内訳】 指定通所介護事業所（指定介護予防通所介護所の併設を含む） 487 事業所
指定介護予防通所介護事業所のみ 4 事業所
指定認知症対応型通所介護事業所 33 事業所 |
| 3 調査の方法 | 郵送によるアンケート調査（返送は郵送又はファックスによる） |
| 4 調査時期 | 平成 23 年 12 月～平成 24 年 1 月 |
| 5 回収結果 | 調 査 標 本 数 524 件
有効標本回収数 382 件（有効回収率 72.9%）
集計対象標本数 370 件（集 計 率 70.6%）※休廃止：12 事業所 |

Ⅱ 調査結果の概要

1 回答事業所の状況

(1) サービス種別

通所介護	介護予防通所介護のみ	認知症対応型通所介護	合計
344	3	23	370
93.0%	0.8%	6.2%	100.0%

(2) 規模別分類

小規模型	通常規模型	大規模型Ⅰ	大規模型Ⅱ	不明	合計
191	143	23	10	3	370
51.6%	38.6%	6.2%	2.7%	0.8%	100.0%

※ 規模区分（前年度1月あたり平均利用延人員数）

小規模型事業所… 300人以内

通常規模型事業所…301人～750人

大規模型Ⅰ事業所…751人～900人

大規模型Ⅱ事業所…901人以上

(3) 「お泊りデイサービス」実施の有無

2割弱の事業所が「実施している」と回答している。

実施している	実施していない	不明	合計
67	302	1	370
18.1%	81.6%	0.3%	100.0%

(4) 実施理由（複数回答可）

(4)は、(3)「「お泊りデイサービス」実施の有無」で『実施している』と回答した事業所に対して尋ねたものである。9割弱の事業所が「利用者からの要望」と回答している。

利用者からの要望	利用者確保のため	収入確保のため	その他	合計
58	17	5	24	67
86.6%	25.4%	7.5%	35.8%	100.0%

2 「お泊りデイサービス」の実施内容

2は、1（3）「「お泊りデイサービス」実施の有無」で『実施している』と回答した事業所に対して尋ねたものである。

（1）利用料金の設定

9割弱の事業所が「一律の料金」と回答している。

一律の料金	要支援・要介護 度に応じて	合計
5 9 88.1%	8 11.9%	6 7 100.0%

（2）定員数の定め

あり	なし	合計
5 3 79.1%	1 4 20.9%	6 7 100.0%

（3）連泊制限の有無

あり	なし	合計
1 8 26.9%	4 9 73.1%	6 7 100.0%

（4）宿泊場所について（複数回答可）

「静養室」の割合が7割強と最も多く、次いで「機能訓練室又は食堂」の順であった。

機能訓練室 又は食堂	静養室	デイサービスとは別 スペース（個室）	デイサービスとは別 スペース（個室以外）	合計
3 4 50.7%	4 8 71.6%	6 9.0%	1 0 14.9%	6 7 100.0%

（5）宿泊スペース

利用者1人あたりの宿泊スペース(平均値)
5. 7 m ²

(6) 利用者のプライバシー保護（ハード面）

「パーテーション等を配置することによりプライバシー保護している」の割合が5割強と最も多く、次いで「特にハード面の配慮なし」、「利用者ごとに個室」の順であった。

利用者ごとに 個室	パーテーション等を配置することにより プライバシー保護している	個室とパーテーション等を 併用	特にハード面 の配慮なし	その他	合計
12 17.9%	36 53.7%	4 6.0%	14 20.9%	1 1.5%	67 100.0%

(7) 職員数

1人	1人又は2人	2人以上	合計
42 62.7%	12 17.9%	13 19.4%	67 100.0%

(8) 職員の勤務形態

夜勤体制	宿直体制	夜勤・宿直のどちらか 又は併用体制	合計
37 55.2%	19 28.4%	11 16.4%	67 100.0%

(9) 手当の有無

あり	なし	不明	合計
62 92.5%	4 6.0%	1 1.5%	67 100.0%

(10) 緊急時対応方法（複数回答可）

「応急マニュアルの整備・周知」の割合が8割強と最も多かった。

協力医療機関との提携	かかりつけ医と個別提携	看護職員の配置	応急マニュアルの整備・周知	その他	不明	合計
13 19.4%	12 17.9%	8 11.9%	54 80.6%	23 34.3%	1 1.5%	67 100.0%

(11) 防火設備（複数回答可）

「消火器」、「施設内の火災報知機」、「非常誘導灯」の順に割合が高かった。

スプリンクラー	消防署への火災通報設備	施設内の火災報知器	消火器	非常誘導灯	その他	合計
3 4.5%	16 23.9%	56 83.6%	64 95.5%	42 62.7%	2 3.0%	67 100.0%

(12) 利用実績（実施事業所の平均値）

（平成23年10月分）

延べ利用者数 (a)	実利用者数 (b)	1日あたり平均利用者数 (a)/31日	利用者1人あたり平均利用日数 (a)/(b)	連泊制限限度一杯まで利用した人数
56.9人	5.8人	1.8人	9.8日	7人